

推薦のことば

目指せ心電図検定合格！本書は心電図をもっと読めるようになる1冊です。心電図は100年以上前に発明され、現代医学へ大きく貢献してきました。心電図の原理はごくシンプルですが、電極を貼り付けるだけで心拍というきわめて重要な生体情報をオンタイムで観察できることから、その重要性は今も全く色褪せることはありません。心疾患の診断はもとより、手術室や救急車内を含む救急の現場など、医療のあらゆる場面で必要不可欠です。したがって、心電図の判読能力を身につけることは医療者として重要なスキルであり、大きなやりがいがあります。なにより心電図を読めるとかっこいいですよ！

医師だけでなく、看護師、臨床検査技師、臨床工学技士、あるいは学生、医療関係企業の方々にも門戸を広げ、心電図を学び、読めるようになるための到達目標として、そしてその喜びを分かち合う場として、心電図検定があります。2015年に発足し約10年の歴史がありますが、毎年受検者は増え続け、2023年は15,000人以上もの方々が受検されました。心電図を学ぶ意欲の高い方がこんなにも多くいらっしゃるということは感慨深いことです。

本書「心電図完全攻略マニュアル マイスターが教える1・2級合格への最強メソッド」の著者、萬納寺洋士先生、矢加部大輔先生は九州大学で私と心電図をともに学んだ仲間であり、心電図の魅力を知り尽くしています。本書では萬納寺先生、矢加部先生が心電図検定の問題を独自に分析し、3つのパターンに分け、試験でどのように問題を解いていくかをわかりやすく1冊にまとめました。試験合格のポイントをつかむとともに、臨床の現場でもすぐに役立つ実践的な書籍になっています。本書を検定対策に活用いただいて見事合格を勝ちとるとともに、多くの方々が心電図をより好きになり、またその魅力を伝えていく伝道師（刺激伝導系だけに）であってほしいと思います。本書を手にとってくださった方々が、ますます医療や教育の現場で活躍してくれることを祈っています。

2024年8月

福岡赤十字病院 循環器内科部長
向井 靖